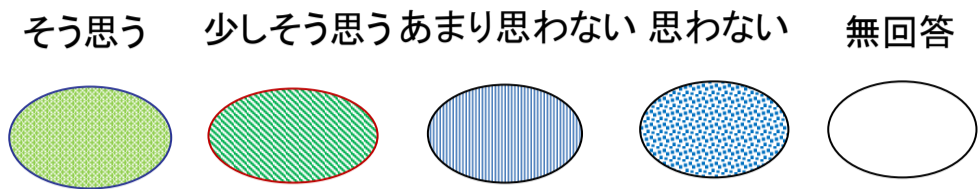
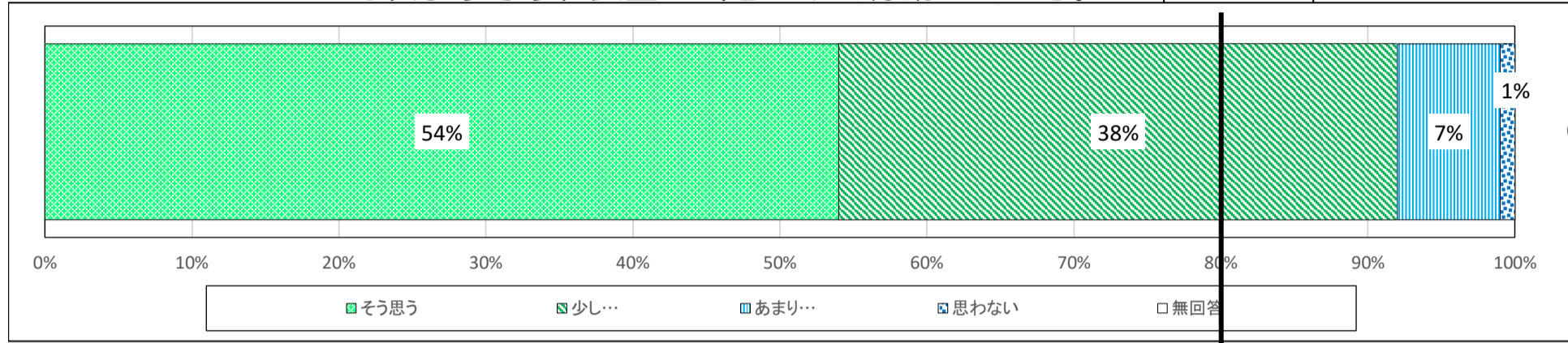


<実施日> 令和3年(2021年)9月27日～10月8日
 <対象> 横須賀市立豊島小学校児童(1年～6年)
 <回収状況>

	児童数	回収数	回収率
1年	44	37	84%
2年	46	40	87%
3年	39	32	82%
4年	48	39	81%
5年	42	32	76%
6年	43	36	84%
全体	264	216	82%

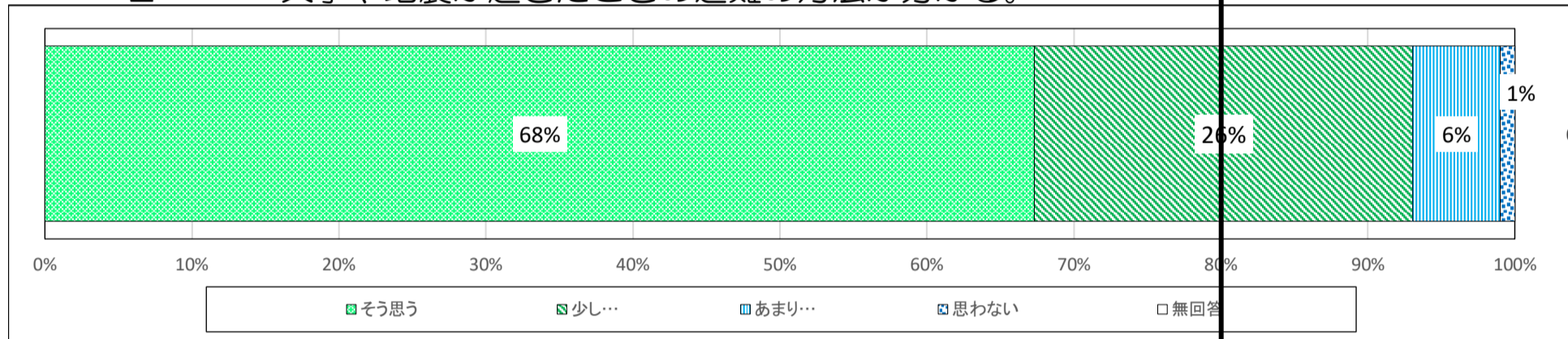


1 いつも決まり守り、安全に気をつけて行動している。 80%ライン



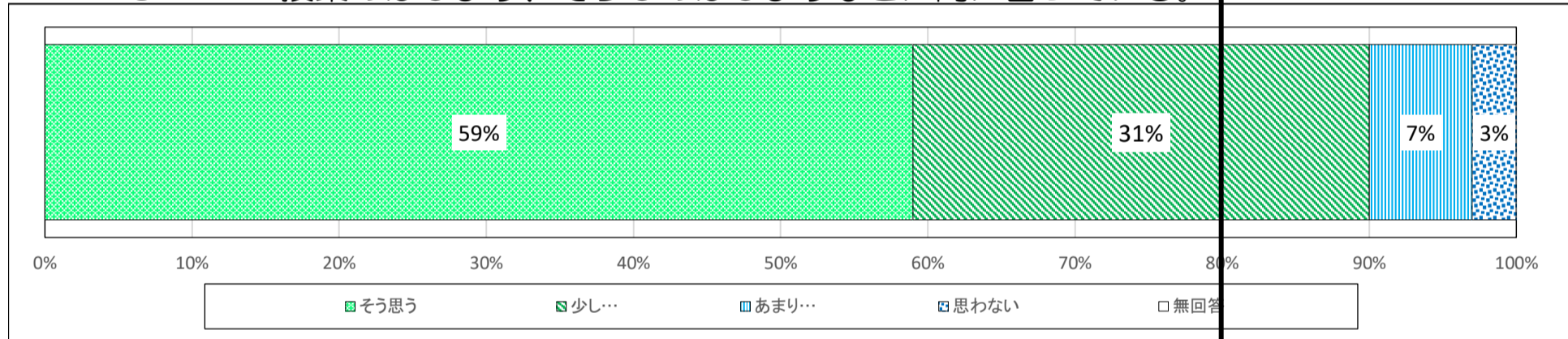
プラス評価（「そう思う」と「少しそう思う」）は昨年度より少し下がりましたが高い評価です。「そう思う」と言える児童が少しずつでも増えていけば、よりよい集団へと成長していくと思います。学校では、きまりだから守るのではなく、その場その場でどう行動したら良いかを「自分で考える」ことが大切だと考え、日ごろから伝えていきます。

2 火事や地震が起きたときの避難の方法が分かる。



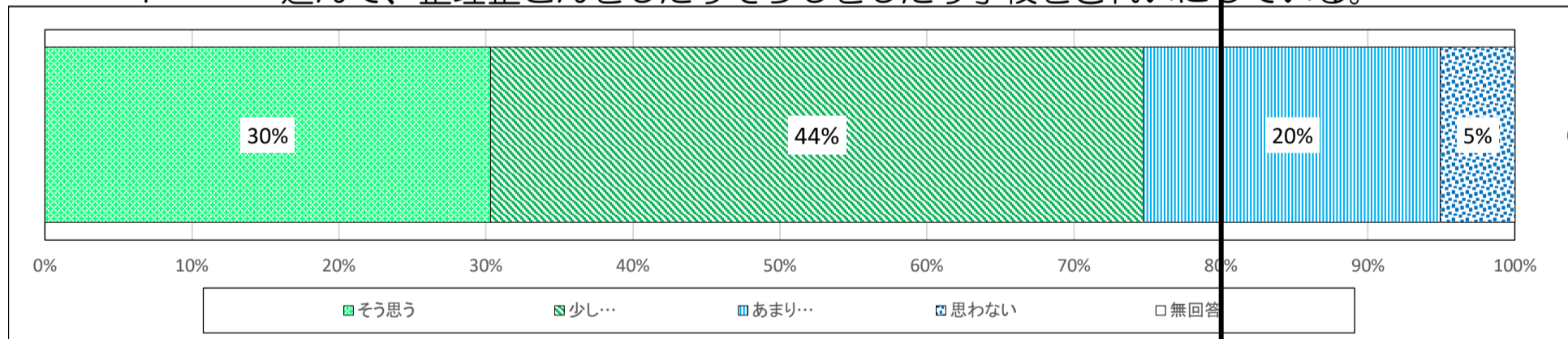
不審者対応の訓練がアンケート後だったため、それについての文言は抜いてあります。プラス評価は少し下がりましたが、70%近くの児童が「そう思う」と答えています。火事や地震は、いつどこで起きるか分かりません。休み時間や登下校途中で起きるかもしれません。自分で考えて自分の身を守ることができるように、毎年訓練を重ねています。

3 授業のはじまり、そうじのはじまりなどに間に合っている。



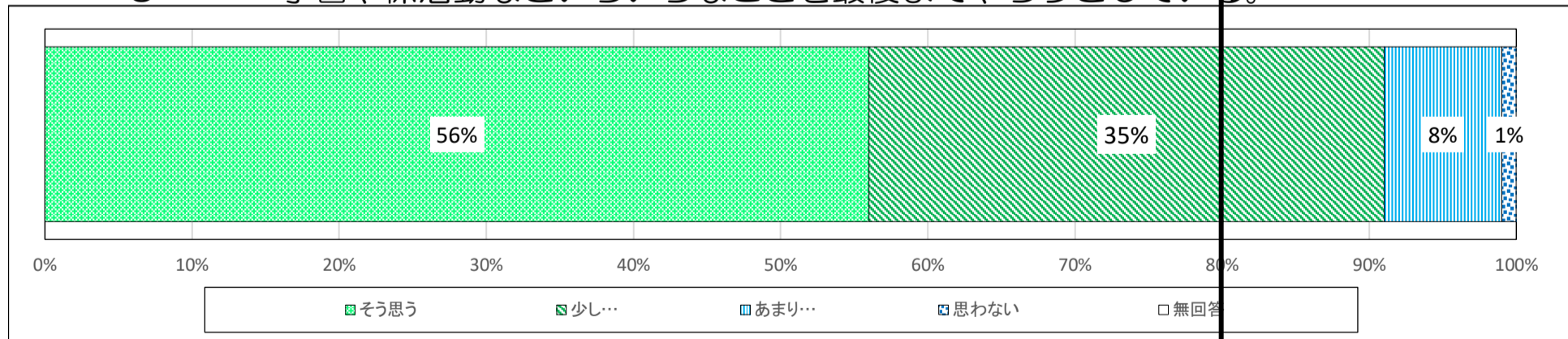
「遅れないように」という部分を「間に合っている」というレベルを上げた表現に変更しました。プラス評価が2ポイント下がりましたが90%には達しています。チャイムが鳴ったらすぐに遊びをやめたり、授業前に着席したりすることは「みんなで」意識することで達成できることです。まだ伸びしろがあるところだと思います。これからも正しい選択のできる集団であるために、互いに声をかけ合うよう促していきます。

4 進んで、整理整頓をしたりそうじをしたり学校をきれいにしている。



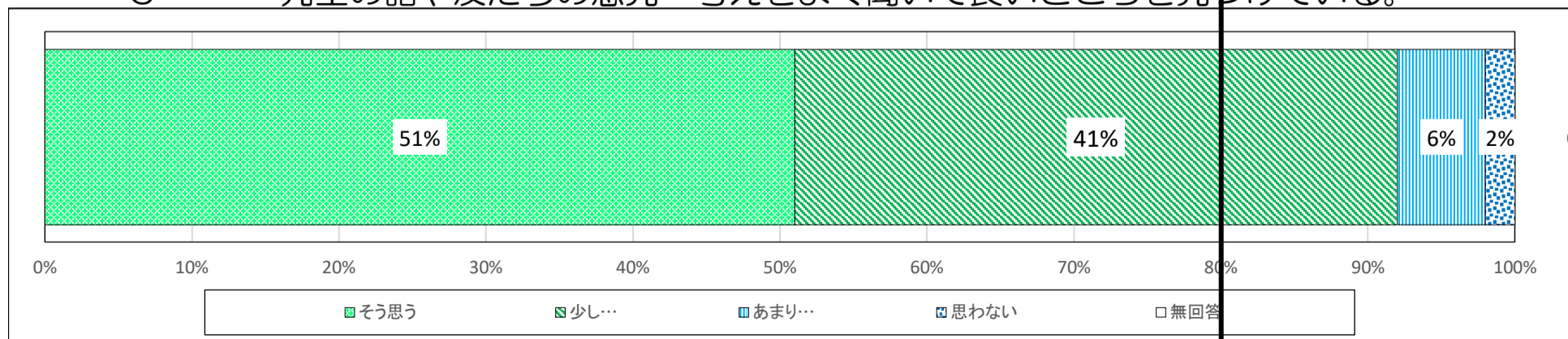
新型コロナ対応で掃除をしない期間後にアンケートを行ったことから「そう思う」と答えた児童が20ポイントも下がりました。自分たちが使う場所をきれいにしようとする気持ちを持って、整理整頓に取り組む児童も多くいます。当番だから行うという事ではなく、できることを進んで行い、仲間と協力して活動する態度を育てていきたいです。

5 学習や係活動などいろいろなことを最後までやろうとしている。



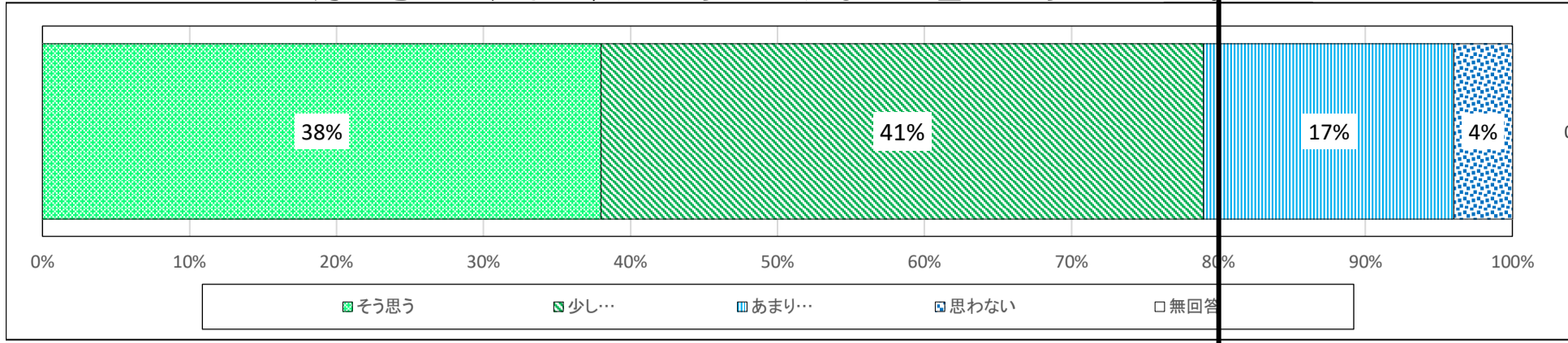
「学習や係活動など」という言葉を付け加えました。プラス評価は3ポイント増え91%です。豊島小では「認め合える児童の育成」を目指して研究に取り組み、日常生活や授業の中で様々な実践をしています。お互いの良さを伝えあったり、自分の成長を振り返ったりすれば、自分の良さが分かります。そのことは、自分を信じ、あきらめずにやりとげることにつながると考えます。

6 先生の話や友だちの意見・考えをよく聞いて良いところを見つけている。



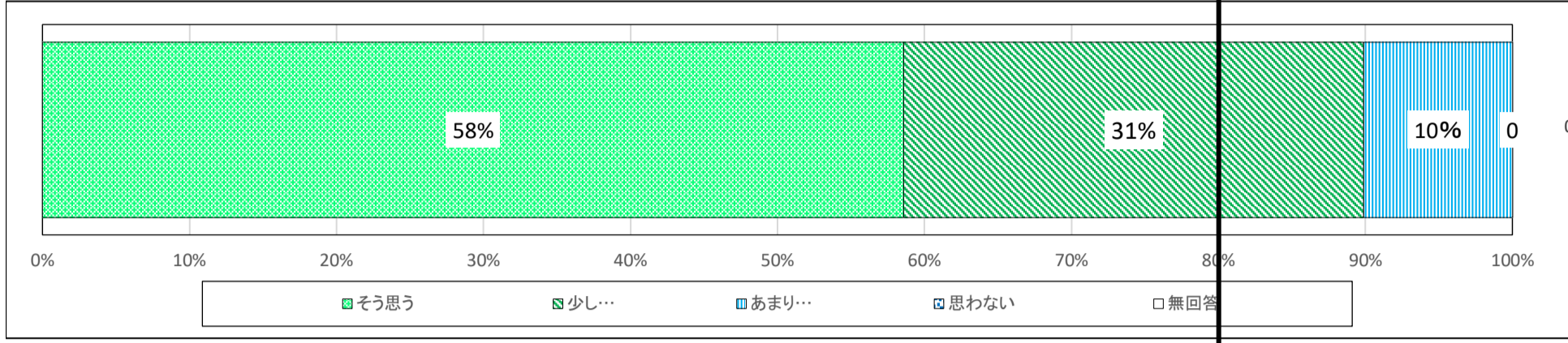
「理解しようとしている」から「良いところを見つけている」という表現に変更しました。プラス評価は昨年度同様高いです。相手の良くないところを見つけることは簡単です。良いところを見つけるということは、よく聞いて深く考える必要があります。学力を高めるためにも、認め合う意識を持ち円滑な人間関係を構築するためにも、聞く力が欠かせません。自分も相手も大切にすることを身につけてほしいです。

7 自分の考えを相手に伝えたりノートなどに書いたりしている。



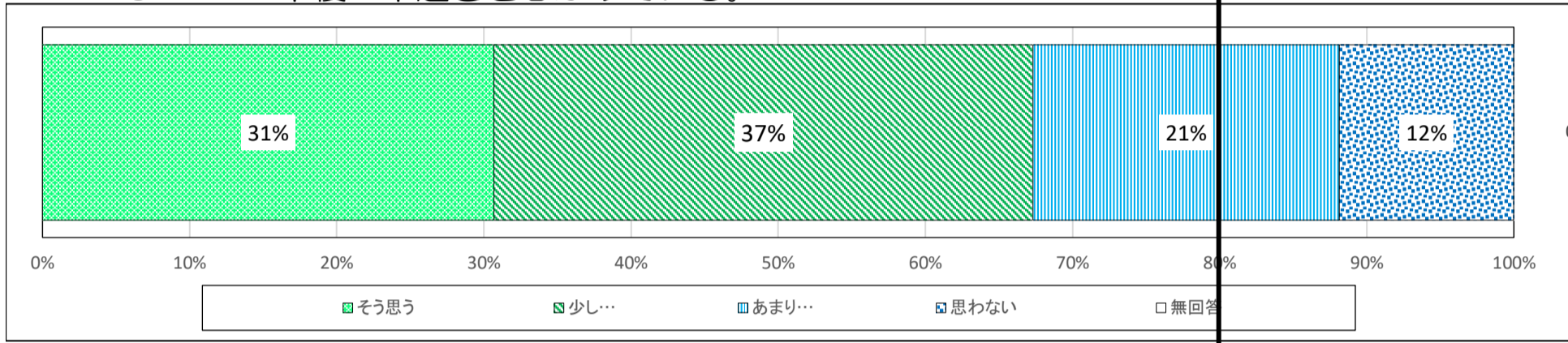
プラス評価が昨年度から3ポイント下がりました。新型コロナ対応をとりながらも、少人数の仲間やクラス全体に話をして伝える活動、自分の考えやふりかえりを書く活動などに取り組んでいます。授業内容の工夫を考え、思考・判断・表現する力を高め、相手に分かりやすく伝える力を伸ばしていきたいと考えています。

8 授業で勉強していることがわかる。



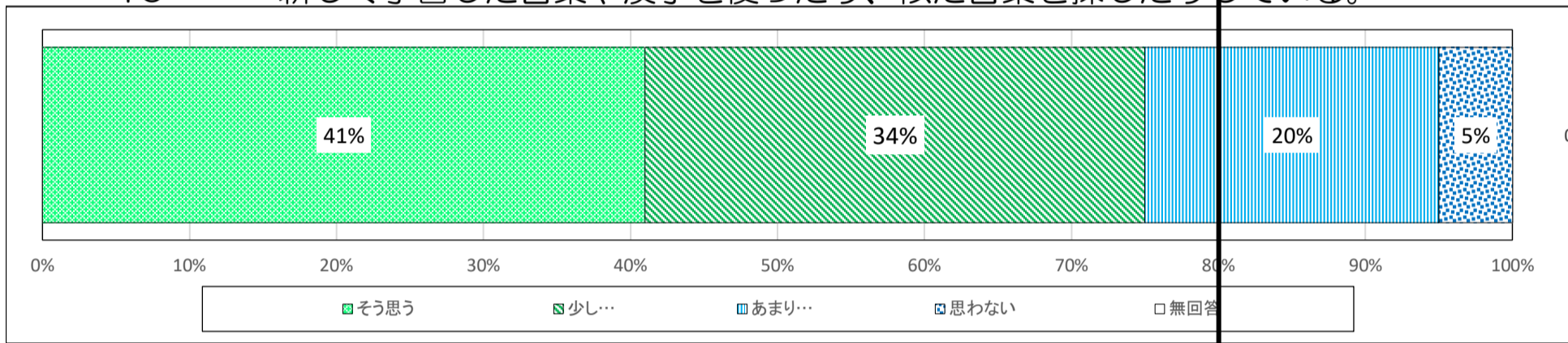
プラス評価は3ポイント下がりましたが、「思わない」と答えた児童が0%になりました。学校では、授業改善や複数体制での指導等、すべての児童にとって分かりやすい授業を目指しています。GIGAスクール構想でクロームブックも一人1台配備されました。個別の指導や習熟度に応じた指導の検討、クロームブックを利用した指導の工夫などを進めていきたいと考えています。

9 早寝・早起きを心がけている。



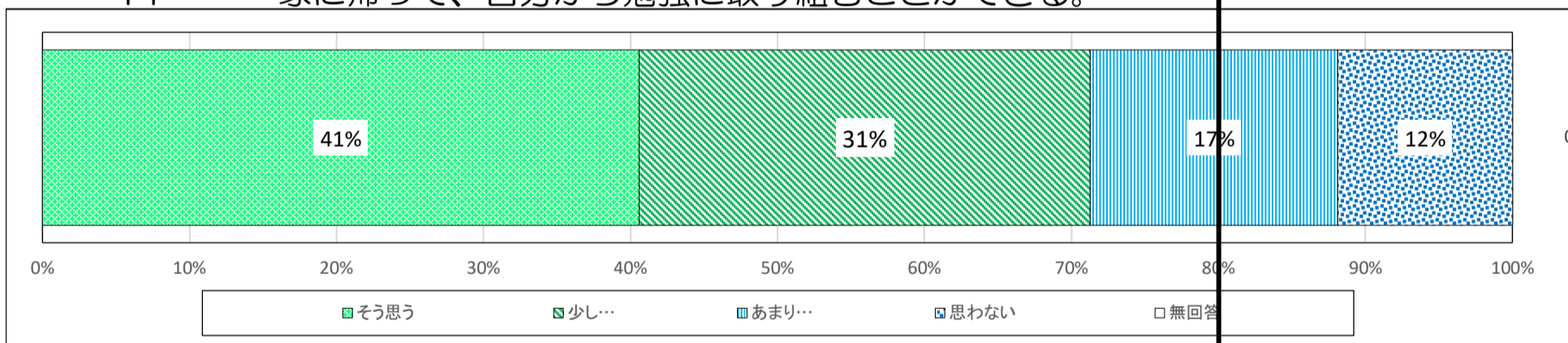
「そう思う」と答えた児童が昨年度より10ポイント下がりました。新型コロナの影響で外に出ることが少なくなったことも影響していると考えます。早く寝ることの大切さは多くの児童が意識していると思いますが、メディアとの付き合い方の影響が大きいと思います。学校でもメディアコントロールについて啓発していますが、ご家庭でもゲーム等の時間を決めるなど、工夫・協力をお願いします。

10 新しく学習した言葉や漢字を使ったり、似た言葉を探したりしている。



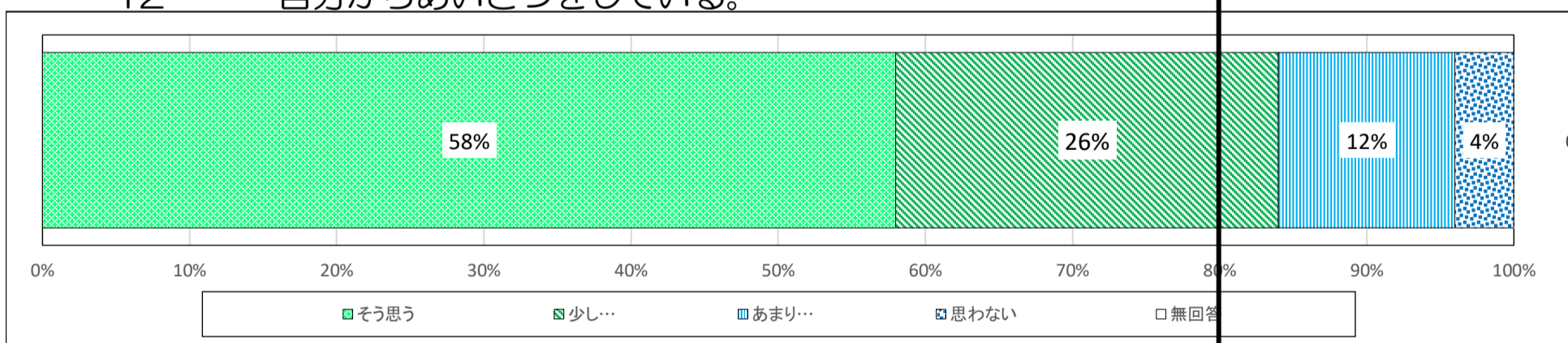
昨年度加えた質問です。「そう思う」と答えた児童が3ポイント増えました。ここでは言葉や漢字と限定していますが、学習は学んだところからさらに進めて、生活の中で気づく、見つける、探す、さらに使ってみることで自分のものとなると思います。授業や自主学习でこれらを取り上げることでNo.11の質問とともに、これからの伸びを期待したいです。

11 家に帰って、自分から勉強に取り組むことができる。



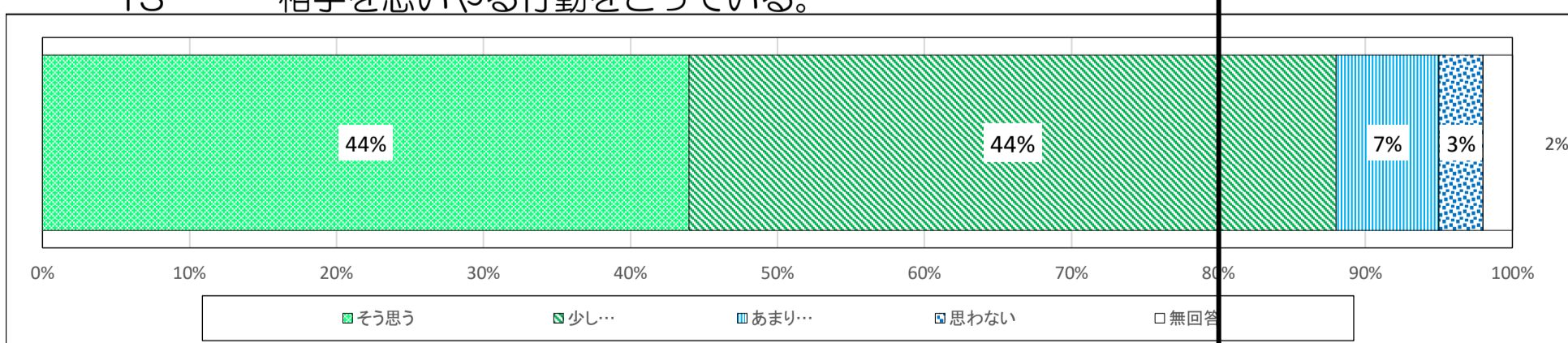
プラス評価が昨年度より5ポイント下がりました。学校から出された宿題だけでなく、3年生からは児童が自ら課題を設定する自主学习もあります。「やらされている学習」ではなく「自分からやってみる学習」に移ってほしいところです。ご家庭でも、お子さんの相談に応じてあげてください。高学年に向けて、課題設定の力を身に付け、しっかり取り組んでほしいと考えています。

12 自分からあいさつをしている。



プラス評価全体は昨年より4ポイント減りましたが、来校された方から、「子どもたちがあいさつしてくれる」という声もいただいています。学校としては、もっと積極的にあいさつをする児童が増えてほしいと考えています。家族、地域や学校でいつも顔を合わせている仲間や大人にも自分からあいさつできるよう、声かけを続けていきます。

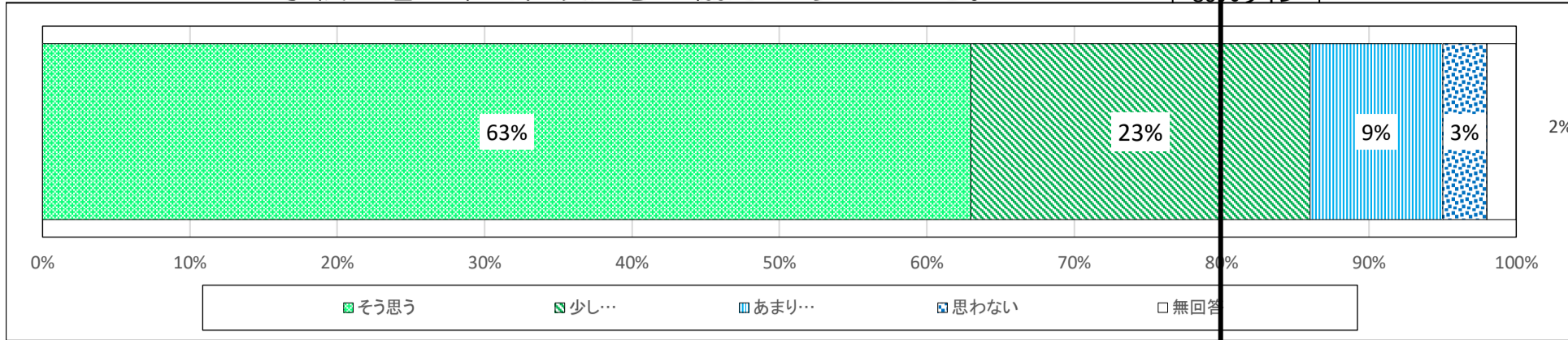
13 相手を思いやる行動をとっている。



「相手が傷つくようなことを言ったりしないようにしている」から「相手を思いやる行動をとっている」という表現に変更しました。昨年度よりも高いレベルの質問ですが、90%近いプラス評価がありました。「認め合える」場面がさらに増え、相手を思いやる集団へと成長して欲しいと考えています。

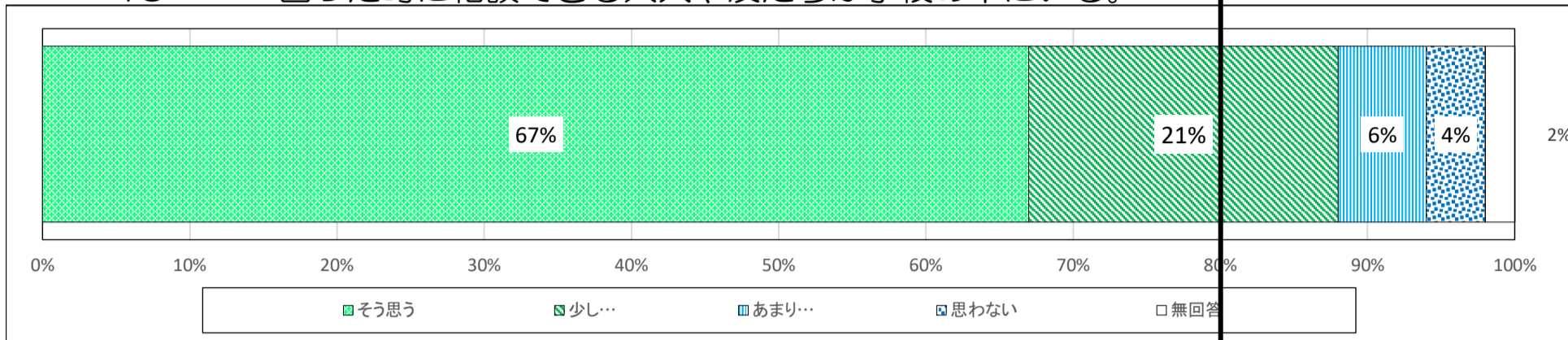
14 学校生活の中で、友だちと協力しあっている。

80%ライン



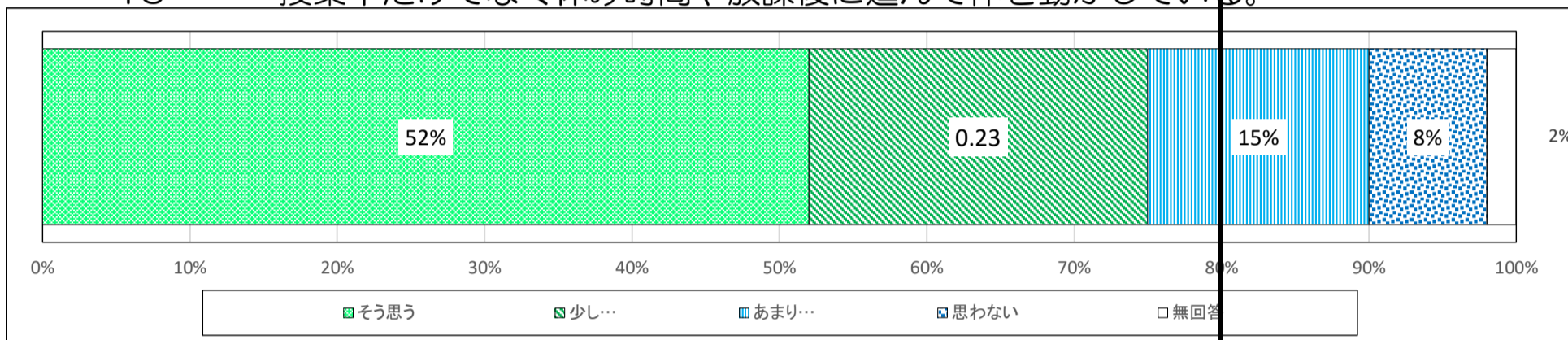
プラス評価が昨年度よりは7ポイント減りました。今年度も新型コロナ対応で学校行事やグループ活動などに制限があり、友だちとの協力という点では十分できなかったところがあります。そのような中ではありますが、時間を区切った話し合いや列を分けての発表など、現状に沿った活動の工夫を継続していきます。

15 困った時に相談できる大人や友だちが学校の中にいる。



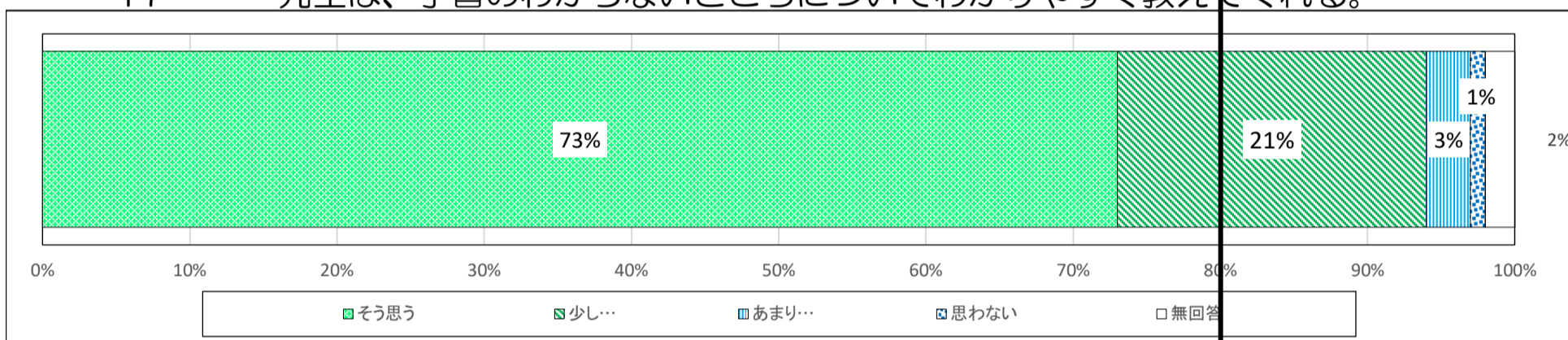
プラス評価は昨年度同様です。担任や授業で関わっている教員だけでなく、全職員で全児童を見守ることを意識しています。また「あいさつプラス一声かける」ことも心がけています。今後も、声をかけやすい環境や関係作りに努めていきます。教職員だけでなく相談できる友だちの存在も大きな力だと思います。

16 授業中だけでなく休み時間や放課後に進んで体を動かしている。



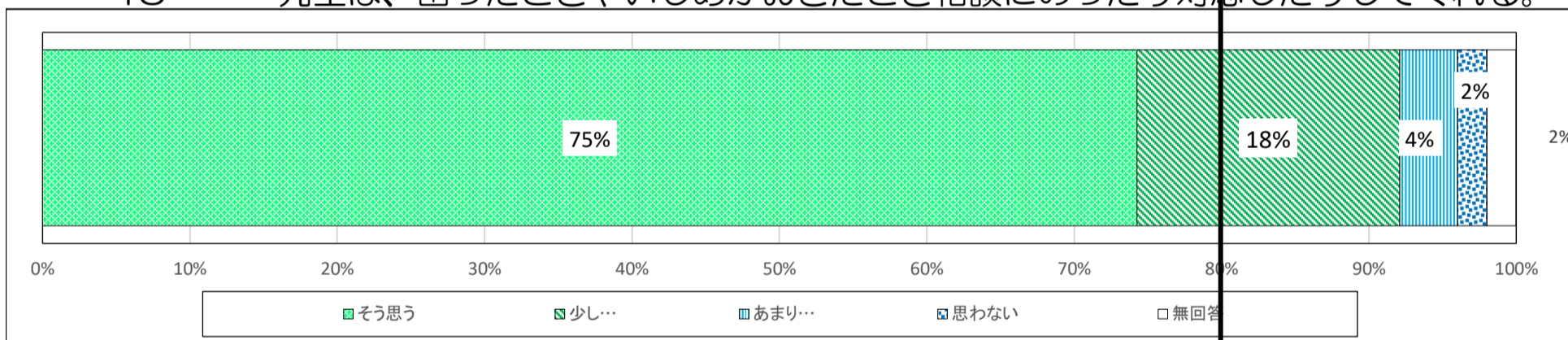
昨年度から設けた質問です。プラス評価が8ポイント下がりました。新型コロナ対応で校庭利用の制限があったことなどが影響していると考えます。進んで体を動かすことで気分を変えたり、活動の集中力を高めたりすることが期待できます。放課後遊びの再開ができました。休み時間のなわとび鉄棒運動のPRなど、多様な活動を工夫していきます。

17 先生は、学習のわからないところについてわかりやすく教えてくれる。



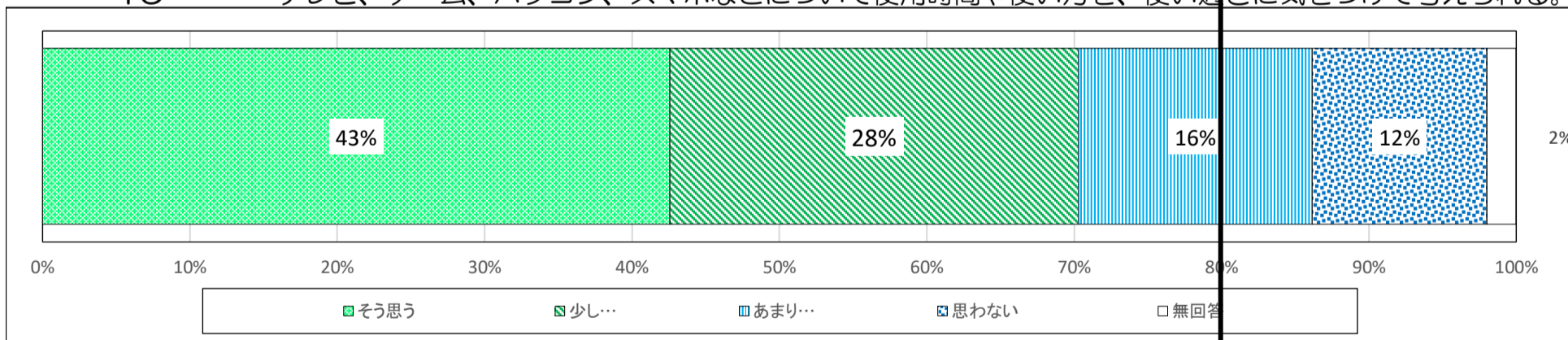
プラス評価が昨年度より3ポイント増えました。学校としてうれしい結果です。今年度は、学習のサポートをするスタッフの時間数が増え、TT(複数で1クラスの指導を行う)や少人数の指導を工夫しています。指導する側が連絡を取り合ったり、ふりかえりカード等で児童の理解度を把握したりして個々の児童に合わせた指導を行っています。

18 先生は、困ったときやいじめがおきたとき相談にのったり対応したりしてくれる。



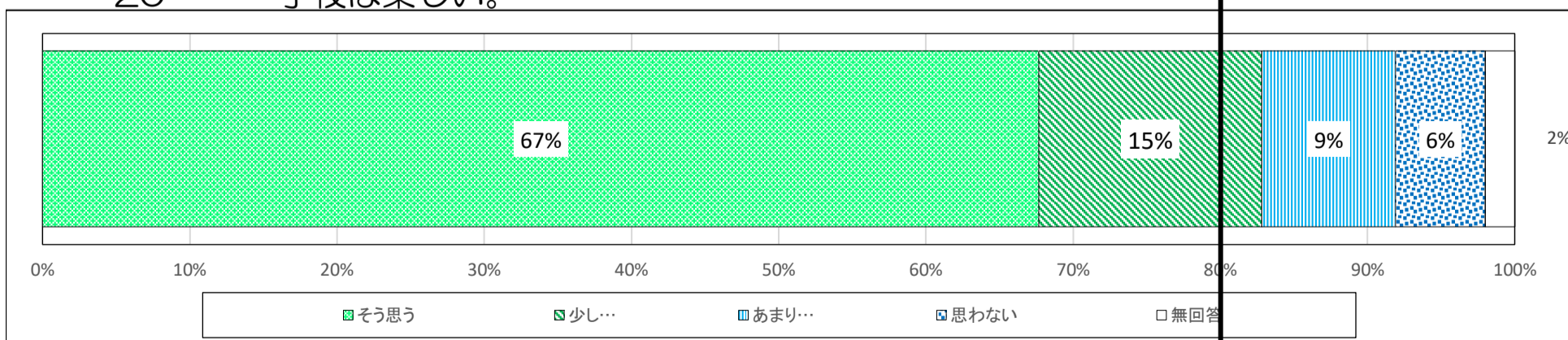
「そう思う」が昨年度より1ポイント増えて75%となりました。またここ2年間では10ポイント以上増えました。学校として励みになる結果です。児童間の問題が起きたときは、それぞれから話を聞くことが基本的な対応です。心が傷ついた子には、より丁寧な対応が必要になります。今後も、日ごろから信頼関係を築き、問題を解決できるよう努めていきます。

19 テレビ、ゲーム、パソコン、スマホなどについて使用時間や使い方を、使い過ぎに気をつけて考えられる。



昨年度より設けた質問です。プラス評価が2ポイント下がりました。No.9、No.11の質問にも関係しますが、メディア利用の時間にはルールを設ける必要を痛感しています。少なくとも90%以上の児童がプラス評価で答えられるよう、学校でも様々な機会を通して指導していきます。このことについては、ご家庭の協力が必須です。今一度お子さんと話をしていただけるようお願いしたいです。

20 学校は楽しい。



昨年度とほぼ同様の評価ですが、「そう思う」が7ポイント下がりました。学校生活全体に様々な制限があることに疲弊している雰囲気があるかと考えます。制限はあるけれど、学校でしか経験できないこと、友だちに認められることで自信をつけることなどたくさんあると思います。学習が楽しいと思える授業を日々工夫しています。今後も楽しい学校づくりに努めていきます。